回　　覧

令和元年６月
美しヶ丘自治会　保健衛生部

セアカゴケグモにご注意ください！

セアカゴケグモはもともと日本には生息していませんでしたが、平成7年大阪府で発見され、現在では西日本を中心に定着が確認されています。奈良県内でもあちこちで発見されています。セアカゴケグモは毒性を持っていますが、攻撃性のないおとなしいクモのため、過度に恐れる必要はありませんが、春先から秋にかけて活動が活発化するので注意が必要です。

■セアカゴケグモの特徴
毒を持っているのはメスだけで、全体に黒色で、腹部に赤色の縦縞紋があります。体長は約１センチです。オスはメスに比べて小さく、体長は2～3ミリで赤い模様は見られません。「卵のう」という卵の袋に多量の卵を産み、1回あたり3～5個の卵のうから500匹ほど産まれます。

■発生時期と場所
年間を通して発生はみられますが、特に4月から10月にかけて多くみられます。次のような場所を好み住み着きます。
○　日当りがよく、暖かい場所
○　昆虫などのエサの豊富な場所
○　巣を張る適当なすき間のある場所
＜具体的な注意場所＞
排水溝の側面やふたの裏、植木鉢やプランターの裏、室外機や自動販売機の下、公園内のベンチの裏や遊具の底面、ブロックのくぼみ、屋外にあるサンダルや靴の中、墓石のすき間など
セアカゴケグモの巣は、枯葉などを巻き込んだ不規則な形で、大半は地面近くに作られます。

■駆除の仕方
見つけても、絶対に素手では触らないでください。手袋等を着用の上、駆除を行ってください。
市販の殺虫剤を直接噴霧してください。または、靴で踏みつぶしてください。卵のうの外からは殺虫剤は効きにくいので、踏みつぶすか、火気を使用できる場合は燃やしてください。

■かまれた場合
針で刺されたような「チクッ」とした痛みがあります。数十分で周囲が腫れて赤くなります。
＜対処方法＞
○　かまれた部位を温水や石けん水で洗い流し、傷口を冷やします。
○　出来るだけ早く医療機関で受診してください。（殺したクモを持参するとクモの種類が特定しやすくなります。）

■日常の注意
繁殖力が強いので、見つけた場合すぐに駆除するよう心がけ、住宅周辺の点検を行ってください。
屋外の作業は手袋を着用し、履物内にクモのいないことを確認しましょう。

（王寺町役場HPより）

回覧										